

図書案内 『改革派信仰とは何か』(牧田吉和著)

聖恵授産所出版部 2006年
松田 義人

昨日4月より、高間満長老と共に神学校で聴講を続けています。それは長年の信仰生活を通して学び、教えていただいた信仰を見直し整理、すなわち今身についていると思っ
ている聖書理解、信仰理解を今一度、聖書から、改革派神学から確認したいと願ったから
です。この1年多くの科目を履修し学んできました。どの科目においても豊かな恵み
を与られています。信じてきた事柄がなるほどこうした確かな教えに立つものであ
ったのだと再確認することができ、一方はっきりしなかった事柄については新た
な視点、知識を与えられてより一層学んでみたいとの思いへと導かれました。そ
の中から、大きな恵みを受けた講義のテキストをご紹介します。それは牧田吉和先
生(元神学校校長)の『改革派信仰とは何か』です。これは、「改革派神学入門」とい
う授業のテキストです。集中講義という形で1、2学期通して6日間、牧田先生ご
自身から教えていただきました。

「改革派信仰」、私たちは日本キリスト改革派教会に属して毎主日の礼拝を中心に信仰生活を送っています。キリスト教会はどこでも同じかということそうでもありません。「聖書のみ」という共通の原則に立つプロテスタント教会もその聖書理解においては種々様々です。そうした中で「改革派」を名乗る教会に属する私たちの信仰理解の基盤をしっかりと意識することは本当に大切なことです。このテキストで先生は「改革派神学」という歴史的に確立されてきた信仰理解を明らかにしてくださっています。そして、それは単なる知識ではなく、私たちの信仰そのものと一体であることを強調されています。各章の表題を紹介します。①改革派信仰とは「神の御前に」徹底的に生きる信仰、②神の言葉である聖書を徹底的に重んじる信仰、③純粋な教理を徹底的に追及する信仰、④神中心主義を徹底的に主張する信仰、⑤予定論において救いにおける恩恵性を徹底的に保持する信仰、⑥善き生活を徹底的に生きようとする信仰、⑦有神論的の広がりの中で文化的動きをも徹底的に尊重する全包括的な信仰、⑧聖書的神礼拝を徹底的に展開する信仰、⑨長老主義政治を確立し、徹底的に聖書的教会を形成しようとする信仰、⑩教会の自律性の保持のために徹底的に戦い抜く信仰、です。この表題からもお分かりのように、すべてに「徹底的に」という言葉が含まれています。聖書が

すなわち神様が私たちに語りうとしておられることを決しておろそかにしないという信仰的姿勢がそこに示されています。「改革派」という名称は御言葉によって絶えず改革され続けるという信仰の在り方を示しているのです。また、この表題一つ一つが改革派信仰を特徴づけるものです。先生はそれらを単なる知識ではなく信仰者として生きるという視点から語ってくださっています。私たち自身がこの信仰に立ち聖霊の導きのもとに生き生きと信仰生活、教会生活をおくる姿を示してくださっています。教会図書にもありますので、是非この書物をお読みいただきたいと思います。